

M E E T ☆ ミーティング事前アンケート結果 (回収: 17 名)

I. 認知症についての普及・啓発が進んできていると感じますか？

どんな場面でそう感じますか？

【「はい」のご意見】

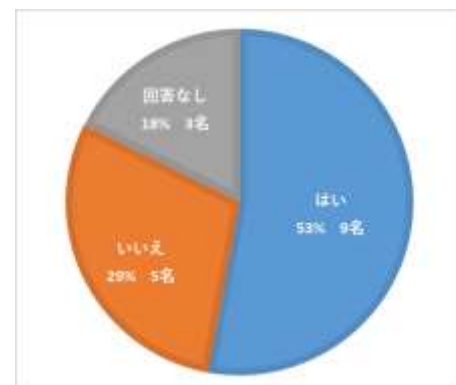
- ①ラジオ、テレビなどの報道、新聞や書籍など、よく耳にします。
- ②地域で認知症の方を陰ながら見守っておられるのを知ったとき。
- ③「認知症」という言葉の普及が進み、周囲の人の助けがあるように思います。
- ④各市町村で認知症に関連する活動が多く見受けられるようになった。
- ⑤病気に対する理解、認識は進んできていると感じます。
- ⑥放送や新聞紙面で認知症の話題が増えている。が、正しく認知症の知識や情報が浸透しているかは、まだまだ疑問だ。
- ⑦毎月の広報や全戸配布の「みんなに知ってほしい認知症のこと」など、積極的に発信されていること。
- ⑧市で条例の制定がなされ、広報での折り込みもされたことで、窓口や電話においても、身近な相談が増えた印象を受ける。

【「いいえ」のご意見】

- ①認知症の方のコミュニケーションの場所が少ない。
- ②外部との関わりが少ない。
- ③近所にも同じ患者さんがたくさんいそうなのですが、横のつながりがなく、また一般的でないと感じる。
- ④内服治療などがあるが、本人・家族に内服を拒否されることがある。
- ⑤現状では在宅生活の可否が認知症の有無で大きく左右され、家族内でも隠してしまうことや認めない人がみられる状態。正しい知識の啓発がまだまだ必要と思われます。
- ⑥今、何の取り組みがされているかわからない。

【その他のご意見】

- ①わからない
- ②認知機能が低下していくことへの認識と対応
- ③外来の患者を診療して家族の理解



2. 認知症に関係することで、困りごとや課題だと感じることをご記入ください。

- ①富田林市は若年性の認知症の人たちが話をできる場所がない。市内から富田林市に来てもらって話ができるのでは。
- ②居場所・施設ではほとんど座ってボーとしてるだけ。介護士に何ができるでしょうか。
- ③地域に安心できる居場所が少ない。超高齢社会（地域）は、自助や互助、さらに共助も難しく、地域の支え合いも危うくなってきているのでは。認知症になっても安心して暮らせる地域は、本当にやって来るのかと心配。
- ④グループホームに入所したくても費用が高く免除もない。特にまだ若い人はまだまだ動けて働きたい気持ちはあるが、特養はグループホームと違って機能訓練などもなく、行事もほとんどない。外とのコミュニケーションもありません。
- ⑤認知症の人が増えているのに法律が古すぎて今の時代に合っていない（空き家も認知症の人がいると何もできない、など）。
- ⑥わがごと（自分自身のこと）として、捉え考えることの難しさ
- ⑦当事者になるまで「自分事」と感じにくいこと。自分が認知症になった時にどんな言動をするか不安になること
- ⑧認知症の方を診ていく際、家族の対応がうまくいっていない場合がある
- ⑨暴言や暴力に対する対処方法
- ⑩独居の場合、在宅生活のハードルが一気に上がってしまう
- ⑪一人暮らしの方が初期の認知症になられた時のフォローの仕方
- ⑫「認知症」の（悪い）イメージで本人の受診がすすまず、進行してから相談がある
- ⑬認知症の人をしっかりと支えてくれる医師が少ない。初診に至るハードルも高い
- ⑭アルツハイマー型など認知症の確定診断もできる画像診断ができる病院が少ない
- ⑮認知症の周辺症状が出てきているが本人は感じておらず、自覚に乏しい状態で、「自分は認知症ではない」と思っており、まわりの人と理解の相違がある場合

3. 認知症に関係することで、取組みのご提案や希望する制度（あったらいいなと思うサービス）などをご記入ください。

- ①ボランティア。老人ホームの入居者にとってボランティアで訪れる人との関わりを持つことは、入居者にとってもいい刺激になるし、職員不足もあり職員の負担を減らしたり、入居する人たちの満足度を高めたり、預ける家族も楽しい場所なら安心して入居させることができる。
- ②民間施設にもボランティアの方がマジックや歌やゲームをしに行ってもらえたら入所の方も喜ぶ。
- ③以前近所で認知症家族が集まる会を開いてもらったのですが、そういう機会
- ④近所で情報共有
- ⑤地域で寄り合える場所
- ⑥グループホームも介護保険で入所できたら、費用も気にせず施設でも楽しく過ごすことができると思う。
- ⑦困り事のかかえている人を中心に、チームとして支えていくシステム。家族であれ夫婦であれ、

独り暮らしであれ、24 時間チームで支えていく、どんなときでも支えてくれるチームがあればよいと思います。

- ⑧有料のサービスに拒否がある場合などに使える生活援助サービスや病院への送迎
- ⑨いわゆるゴミ屋敷の片付けに掛かる処分費用の免除
- ⑩運動と認知症が深く関係していることを知る。身体が悪くなると運動ができない。色々な場面で運動の大切さを学んでほしい。
- ⑪年齢を増すと外出が苦手になる。家の外での楽しい催しを沢山提供してほしい。電車に乗って遠足など。
- ⑫認知症サポーターの活躍
- ⑬診療の中で物忘れ診察があり、早期対応や予防ができたらいいなと思います
- ⑭認知症外来の連携先が知りたい、臨床症状で判断していることが多い
- ⑮認知症の方と同居している家族への支援強化
- ⑯講演会等で啓発（認知症の脳機能について、進行することが多い認知症の予後予測をして対応することの大切さ）
- ⑰認知症の知識（色々な認知症がどうして起こるのか？予防できる認知症は？対応の仕方は？早期発見のメリットは？治療方法ができてきたこと）
- ⑱認知症でも入れる施設かどうかなど、施設の情報（金額や入居可能かなど）がまとめて見られるサイト